

# 岩手県職労

号外

昭和34年4月1日

第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県庁内

No.2264

2013年

11月7日

被災地支援の映画「じんじん」観賞希望の方は支部書記局へ。詳しくは裏面をご覧ください。

## 13 確定闘争情報 - ⑩朝

# 生活・職場の改善へ

# 全分会からの要求を!

## 明日 現業評議員課題 人事課長交渉実施

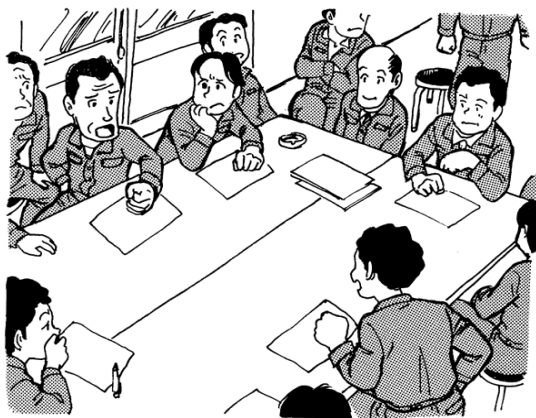
12月議会前の秋季闘争はいよいよ大詰めを迎える。ヤマ場としていた5日の地公共闘による人事課総括課長交渉では、①現給保障の廃止については今年度中の廃止決定はしないこと、②50歳台後半層の昇給抑制については1月昇給の他県の取り扱いを見ての判断となること、③7月からの給与削減については二度と地方交付税の

減額をさせないよう県としても国へ意見を述べ続けていくこと等、制度改悪を強行する動きは阻止できた。

一方で、自己負担解消のための諸手当改善や心と体の健康のための休暇改善など、県職労の独自課題については、当局の消極的な姿勢が続いている。

明日8日は、現業評議会としての人事課交渉、県職労本部による人事課交渉を実施する。独自課題の改善を引き出せるよう、現在、本部が提

起している「全分会連鎖要求書」の集約に向け、分会・支部における討論を通じ、職場課題の掘り起しに全分会で取り組もう!



### 【今後の交渉日程】

- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 8日(金)  | 現業評議会人事課総括課長交渉<br>県職労人事課総括課長交渉 |
| 11日(月) | 地公共闘総務部長交渉<br>県職労総務部長交渉        |

### 全分会連鎖要求書 実施中

分会要求を1枚の要求書に!

自分たちの職場の課題は何か、分会内で話し合い、ゆずれない要求を確認しよう。

通うほど増える負担ってナニ!?

# 通勤手当 東北最低水準

広大な県土  
長距離通勤  
強いられるのに...

通勤手当支給 額の上限 (円)	交通機関(電車、バス等)			交通用具(自家用車等)	
	在来線	新幹線	全額支給上限	一般道	高速道
岩手県	65,000	65,000	* 45,000	35,000	55,000
青森県	70,000	90,000	** 55,000	(46,000)	(66,000)
秋田県	55,000	95,000	55,000	38,100	78,100
宮城県	65,000	65,000	55,000	33,000	65,000
山形県	55,000	75,000	55,000	44,900	64,900
福島県	61,000+1/2	61,000+1/2	61,000	47,700	61,000+1/2
新潟県	55,000	95,000	55,000	44,100	84,100

\* 岩手県：IGR・三鉄利用の上限は60千円

\*\* 青森県：青い森鉄道利用の上限は70千円

※ 青森県の交通用具欄の額は、青森県人事委員会が勧告した手当引上げの通り規則整備された場合の額

上の表は、東北地連内の各県の通勤手当の上限額をまとめたもの。本県の在来線での交通機関利用は、支給上限こそ65,000円と東北中庸であるものの、運賃が45,000円を超える分は1/2しか加算されないことから、自己負担が発生しない全額支給上限は東北最下位となっている。本県は新幹線通勤者が他県と比して多いが、通勤手段は確保されていても、多額の自己負担を伴う仕組みとなっており制度疲労は明らかだ。

交通用具使用を見ても、同様に最低水準となっていることがわかる。本州一の広大な面積を有し、峠道も多いなどの地理的困難を抱える中において、本県職員は、当局からの人事異動命令に対して、生活事情等からやむを得ず長距離通勤を余儀なくされることも多い。

にも関わらず、通勤すればするほど自己負担が増えることは、実費弁証的性格を有する通勤手当制度と明らかに矛盾している。県職労は、こうした矛盾を追及し、組合員の実態を訴えながら、通勤手当改善を粘り強く求めていく。

映画の宣伝...

じんじん

岩手県教職員組合 協賛

前売 一般 1000円 小中高生は 当日券のみ 800円

この映画は、北海道を舞台に、「絵本の力」と「親子の絆」を描き、あたたかな感動とやさしい気持ちが“じんじん”と広がっていく作品。チケットのうち50円が、被災地の子どもたちへの絵本贈呈に充てられる。観賞を希望される方は、お近くの書記局へ!

上映日 11/14 岩手県民会館

11/17 岩手教育会館

11/24 キャラホール